

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	Bowline プロジェクト（ボウラインプロジェクト）		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	みんなでアート 2023		
事業の目的	障がい者の地域共生を目指すためのイベント運営		
事業概要	<p>Bowline プロジェクト（ボウラインプロジェクト）は障がい者の地域共生を目的として、逗子の共生社会を体感できるイベント「みんなでアート」を企画運営しています。今年も逗子アートフェスティバルに参加し、事前ワークショップ（帽子作り）を経て、「みんなでアート 2023」を10月21日、22日に開催しました。</p> <p>「みんなでアート 2023」</p> <p>10/21 ～音楽とファッションとダンスと～</p> <p>今年は初めて逗子文化プラザホール横のフェスティバルパーク（屋外）でファッションショーを行いました。子どもダンサーといっしょに踊りながらランウェイを歩いたり、日本人の一生（生まれてから死ぬまで）を衣装で表現したり、湘南ミュージックハイスクールの生徒の生演奏にのせてモデルがウォーキングしたりと、多様な表現に挑戦しました。さざなみホールの中では、自閉症のピアニストのコンサートや、車イスダンサー・身体障がいを持つパフォーマーのダンス披露など、音楽×ファッション×ダンスで生まれる化学反応を楽しむイベントとなりました。</p> <p>10/22 ～映画上映とピアノとVR～</p> <p>「ゆうやけ子どもクラブ！」の上映。障がいのある子どもの放課後デイサービスの草分け的な事業所のドキュメンタリー映画でした。たくさんの作曲したオリジナル曲のピアノコンサート、VR（バーチャルリアリティ）の体験会でした（22日は助成金対象外事業）。</p> <p>youtube  <a href="https://www.youtube.com/@minnadeart2022">https://www.youtube.com/@minnadeart2022</a>                  インスタグラム  <a href="https://www.instagram.com/minnadeart/">https://www.instagram.com/minnadeart/</a></p>		
成果や課題	前年の参加モデルの一人が初めて運営側としても参加しました。障がいを持っていても素晴らしい音楽センスやダンスを通しての表現がある。アートにはハードルも垣根もない。彼らの自己実現の場としても、「みんなでアート 2023」は大いに機能していると感じました。		
今後の展望	障がい当事者の輝ける場の創造、サポート、発表の場の整備など、今後も活動を続け拡げていきたいと思ひます。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	   		